

7/6

きれいな海と安全を祈って

大崎海水浴場海開き祈願祭



御厨町にある同海水浴場の海開き前に、今シーズンの安全を祈って大崎海水浴場管理組合主催による祈願祭が執り行われました。

今シーズンは、7月14日～8月12日までの遊泳期間となり、毎年海水浴やキャンプ、バーベキューを楽しむ人で賑わいます。

6月4日には、環境・地域共生活動の一環として、JPGS(株)松浦火力運営事業所、九州電力(株)松浦発電所、西九州共同港湾(株)の職員73人が海岸の清掃活動を行いました。

7/7

思いを語り 想いをつなぐ

第1回青少年の主張



岡 優空さん



栗山 優花さん



松浦市青少年健全育成連絡協議会(柴田則史会長)が主催する同大会が文化会館で開催され、市内小中学校から選ばれた代表13人が自身の主張を発表しました。

審査は中学生の部のみ行われ、最優秀賞として、岡 優空さん(志佐中3年)の「人を支える心」、優秀賞として、栗山優花さん(御厨中3年)の「消える言葉に目を向けて」が選ばれました。

最優秀賞者は、8月23日に開催される「少年の主張長崎県大会」に出場します。

7/9

合言葉は「ういてまで！！」

まつうラッコ会(消防本部有志)



同会は、夏休み期間中の子どもたちの水難事故を防ごうと市内の小学校7校を訪れ、水難事故防止の講習会「ういてまで」を実施しました。

調川小学校では、高学年と低学年に分けて講習が行われ、「ういてまで」のキーワードとともに服や靴を身に着けたまま水に浮いて待つ方法や、救助を行う注意点などを学びました。

講習会を実施した金子秀人さんは「今日学んだことをしっかり覚えて楽しい夏休みにしてください」と児童に話しました。

